

労働安全衛生

基本的な考え方

労働衛生の主な目的は、従業員の安全と健康を保持するとともに、災害および事故を未然に防止することです。

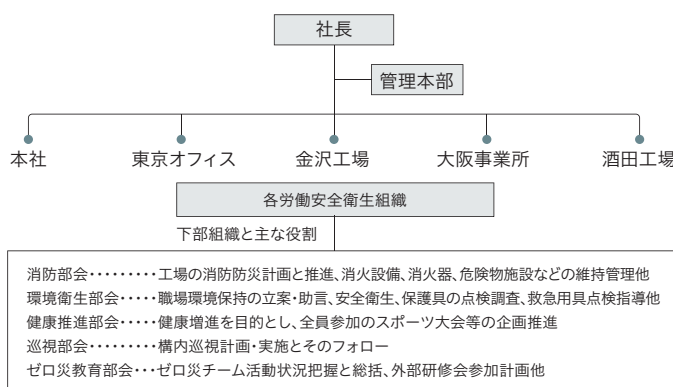
当社グループは、労働安全衛生法および関連法令を遵守することはもとより、従業員の健康増進を推進していきます。その結果、従業員が健康で組織が元気になり、労働生産性の向上に繋がるため、従業員の健康増進や組織風土の改善に取り組んでいます。

当社グループにおける
休業災害件数

3件

(2020年12月～2021年11月)

労働安全衛生の組織体制(大阪有機)



2021年度保安防災訓練実施結果 (当社グループ)

対象期間:2020年12月～2021年11月

	金沢工場	酒田工場	大阪事業所	神港有機
毒劇物取扱教育	●		●	
運送業者教育	●	●	●	
静電気教育	●	●	●	
避難訓練	●			
消火訓練	●	●	●	●
緊急時対応テスト (漏洩・臭気・火災・重合など)	●	●	●	
消防用設備教育 (消火栓・自火報など)	●		●	●
高圧ガス教育	●			
衛生教育	●			●
リスクアセスメント			●	
緊急・救急・保護具教育	●		●	
がん原生指針教育	●	●		
化学物質による健康障害 リスクについて	●			
末端回収訓練			●	●
予防規程		●	●	
刈払機取扱作業員に 対する安全衛生教育			●	
溶接ヒューム教育		●		
消火器具取扱い教育	●			
消防用設備教育 (化学消防車)	●			

本社

コロナウイルス対応(玄関)



受付にて消毒と検温を実施

コロナウイルス対応(会議室)



会議室にパーテーションを設置

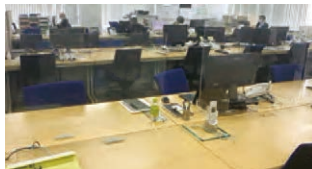
東京オフィス

コロナウイルス対応(玄関)



受付にて消毒と検温を実施

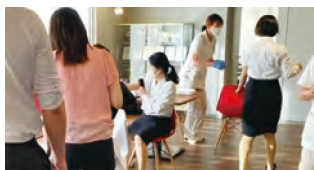
コロナウイルス対応(執務室)



執務室にパーテーションを設置

大阪事業所

新型コロナウイルス感染症に関する対策



コロナウイルスワクチンと二年連続になるインフルエンザワクチンの職域接種を実施

刈払機取扱作業員教育



場内の草刈りを実施する作業員に対する教育を実施

給食メニュー



普通食とは別に、ヘルシーメニューの選択が可能

金沢工場

化学工場の火災は一般火災と異なることを認識して、防消火設備の教育や機器使用教育の充実を図っています。また、各訓練実施時に挙げた課題について改善討議を行い設備の見直しに繋がっています。

消火訓練



放水能力を有した大型消防車(左写真右)に加え、多機能消防車(左写真左)を新規に導入し、自衛消防隊による消火訓練を実施

総合防災訓練



緊急時の集合場所を設定し、迅速な対応指示を行う総合防災訓練や津波等も想定し製造現場事務所の屋上に避難する訓練を実施

資機材・備蓄



あらゆる災害や緊急時を想定して、処置機材を工場中央に一括管理。また、帰宅困難時の対応として飲料水・災害食・毛布等を備蓄

放送設備



場内放送設備の見直しを実施し、工場全体を網羅して放送が聞こえるように各箇所にスピーカーを設置(工場内17ヶ所・厚生棟2ヶ所・研究棟7ヶ所)。

酒田工場

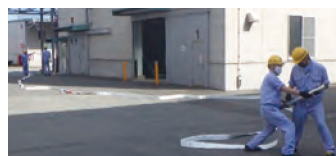
酒田工場では年間の保安管理計画を作成し、消火訓練や4RKYT等の各種教育訓練を実施しています。また、毎月の安全衛生会議を通じて、ヒヤリハットの掘り起こしや新しい原料・機器情報の共有化を図り、リスクアセスメントを通じて危険源をなくして、安心安全な環境を構築しています。

新型コロナウイルス感染症に関する対策



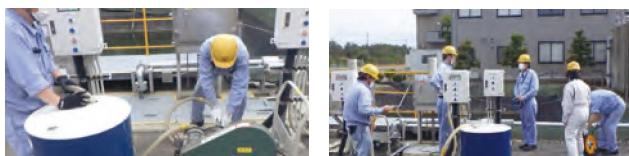
玄関: 来客には検温と手指消毒の実施 会議室: 会議室にはパーテーションを設置
炭酸ガス濃度計: 会議室や食堂、事務所には換気の目安となる炭酸ガス濃度計を設置

消火訓練



各直単位で、普通勤務も交えて実施する消火訓練

漏洩訓練



各直単位で、普通勤務も交えて実施する漏洩訓練

熱中症対策



生産プラントに熱中症対策用のミネラルウォーターを設置

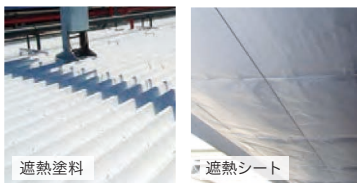
神港有機

コロナウイルス対応



①会議室に空間除菌用、次亜塩素酸水噴霧器を設置
②細菌やウイルス除去用に紫外線空気清浄機を設置
③CO₂計による換気率の監視

熱中症対策



熱中症対策では、遮熱材を活用した熱中症リスクの低減

照明



照度基準に沿ったLED照明器具の導入